

はりの種 Re-NK 通信

非日常が日常になれるように part2



ご高齢になると、外出するという事は、恐怖心や自己効力感の低下などにより、少しハードルが高いものとなっている事が多いです。しかし、実際に行ってみると、その楽しさから「また行きたい」「今度はあそこに行ってみよう」と、欲が強くなり、次への期待が増していきます。危ないから買いたい物は人に頼むという手段もありますが、買い物という体験に価値を置かれる方も多くいらっしゃいます。また、買い物は運動量も高く、他県では“ショッピングリハ”というショッピングモール内でデイサービスを展開している会社もあります。Re-NKではそんな当たり前を感じる欲を出来る限り制御することなく、支援していきます。

お知らせ 出張でセミナー開催致します♪

3Dプリンタの魅力を発信する為、昨年立ち上がったイベント団体“つむぐ”からのお知らせです。昨年2月より毎月ホールで3Dプリンタで作る自助具の作成方法を学び、ワークショップを開催して参りました。10月には、特別講習会として、世界で唯一作業療法士のいるラボ“ファブラボ品川”の林園子先生と濱中直樹先生をお呼びしてワークショップを開催致しました。2年目に突入したつむぐでは、医療機関や介護事業所などへ出向いて研修会を開催していきます。3Dプリンタにご興味がある方や、セミナー開催をしたいとお考えの事業所様はお気軽にご連絡下さいませ。



リハビリコラム

セニアカーで元気に

セニアカーや電動車いすを使う方の身体能力のイメージってどんな印象を持たれていますか？私がよく耳にするのは、「歩けるから使う必要ない」とか「歩行能力が落ちるからなるべく使わない方が良い」といったものです。しかし、十分な歩行能力がある方でも使う必要性がある場合は沢山あります。

例えば買い物へ行く道中の歩行を獲得したい場合(回復モデルといいます)は、目的が歩行なので歩いた方が良いのは当然なのですが、買い物へ行く事自体を訓練として捉えた場合(習得モデルといいます)は、目的が買い物なので、セニアカーや電動車いすを使う事によって、より安全にストレスなく行く事ができ、活動範囲が拡大し、よりその人らしい健康的で幸福的な生活を送れると思います。身体能力で判断するのではなく、目的やその方の想いを聞く事で、適応判断ができると思っています。

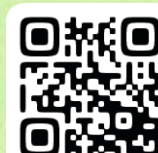


まずはお気軽にご連絡ください

☎ 090-5087-3813

別府市リハビリリンク

🔍 検索



人と人、人とまち、人と作業を繋げる。